





## 【小児神経分野の特徴】

小児神経はけいれん、運動・知能・感覚・行動または言葉の障害など脳、神経、筋に何らかの異常がある子どもの診断、治療、指導を行う分野です。発達に心配のある子ども、てんかん発作をもつ子どもを診療し、様々な症状を持ちながらも、毎日の生活を安心して過ごせるように治療します。4ヶ月健診、1歳6ヶ月健診、3歳児健診などの乳児健診で頭の大きさや形の異常、発達の遅れを指摘された場合、精密検査は小児神経科医に紹介されます。

## 【対応している主な疾患】

### ①けいれんする疾患

熱性けいれん、てんかん、泣き入りひきつけ、脳炎脳症など。

### ②頭痛

片頭痛、てんかん、脳血管障害、副鼻腔炎など。

### ③眠りに関連する疾患

夜驚症、ナルコレプシー、むずむず脚症候群、不眠症など。

### ④力が入りにくくなる疾患

筋ジストロフィー、重症筋無力症、ギランバレー症候群など。

### ⑤脳性麻痺関連の疾患

### ⑥発達に関連する疾患

チック、自閉症、注意欠陥/多動性障害、学習障害、心身症など。

### ⑦その他

二分脊椎、神経線維腫症 I 型、その他希少疾患。